

集中改革プラン平成21年度取組状況

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
民間委託等の推進	浄化センターの運転管理業務委託	庁内検討委員会で協議を行った結果、平成23年度を目途に直営施設の運転管理業務を民間業者へ委託を進める。		— 浄化センター
	直営し尿収集範囲の縮減	庁内検討委員会で協議を行った結果、具体的な内容や周知時期等のスケジュールを決定した。		— 浄化センター
	保育所の民営化及び統廃合	<ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内での統廃合の検討 庁内の保育所（園）関係各課により、統合・民営化を含め保育所運営について検討した。 ・ 外部委員による検討委員会の設置 市内の保育所（園）関係有識者による検討委員会において、統合・民営化を含め保育所運営について検討した。 ・ 保育所（園）運営ガイドラインの設定 検討委員会及び庁内検討会議で、伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画に目標となるガイドラインを位置づけた。 		— こども家庭課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
指定管理者制度の活用	指定管理者制度導入	選定委員会で選定基準の見直しについて意見聴取を行った。各施設所管課がモニタリングに関する指針に基づき、各施設について評価を行った。		— 施設管理課
	直営施設に指定管理者制度導入を検討	<p>【借楽荘】指定管理者制度導入（平成20年4月1日～平成23年3月31日：3ヶ年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度導入の効果について、抽出で聴き取りを行い検証した。 ・ 指定管理者により民営化の方針について、利用者（保護者）に説明及び意向把握を行った。 ・ 完全民営化に向けて、計画とスケジュール等の検討を行い平成23年度中に民営化を進める。 <p>【きらめき工房】指定管理者制度導入（平成21年4月1日から平成26年3月31日：5ヶ年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の保護者、指定管理者、市の3者による運営協議会を設置し、四半期ごとの評価を実施した。 		— 介護高齢福祉課 — 障がい福祉課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
定員管理の適正化	集中改革プランにおける定員管理	一般会計における21年度末の退職者数と22年度採用者数の差は18名となった。なお、前年度までに削減目標は達成されている。	255,139	職員課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
給与等の適正化	給与等の適正化	一般会計の12月支給から適用した給与及び住居手当改定に伴う差額は給与2,101千円、住居手当780千円である。また賞与支給率改定に伴う差額は、6月期73,627千円、12月期53,970千円である。国家公務員に準拠し実施した昇給の1号抑制の効果額は16,614千円である。	147,092	職員課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位：千円)	所管課
	行政評価システムの導入	行政評価システムに基づき、平成20年度実施事業及び平成21年度以降新規事務事業445事業について評価を行った。		— 行政改革推進課
	病院機能評価の取得（平成19年度完了）	改善を要する2課題に取組むことができ、再受審をした結果、機能評価V5の認定を得ることができた。		— 市民病院庶務課
	権限移譲の推進	政権交代の影響から法改正があったため、情報共有のみ実施した。		— 行政改革推進課
	外部監査制度の導入（平成20年度完了）	庁内検討委員会で外部監査導入の可否について決定した。		— 監査委員事務局
	猟友会組織の統合（平成19年度完了）	平成18年6月に伊賀市猟友会が設立された。		— 農林政策課
	窓口の利用時間延長（平成19年度完了）	平成18年度から毎週木曜日午後7時30分まで窓口を延長している。利用者数396人、利用件数707件の利用があった。		— 住民課
	イベント開催時の連携・調整	庁内広報を各支所単から市全体で取りまとめ、統一性を図った。		— 企画調整課・広聴広報課
	上下水道使用料の一括徴収の検討	下水道料金について市全体の均衡を図るため協議を実施し、阿山支所管内において料金体系・金額変更を行った。		— 下水道課
	観光関係団体事務局事務の見直し	支所で所管している3つの観光協会事務局を平成22年度から移管する調整ができた。		— 商工観光課

取組内容	事務事業名	取組概要及び効果	効果額等 (単位:千円)	所管課
事務・事業の再編・整理・廃止・統合	国際交流員の見直し (平成19年度完了)	国際交流員の任期切れの平成18年8月1日から1名に削減2名から1名にした。		—文化国際課
	直営し尿収集範囲の縮減	庁内検討委員会で協議を行った結果、具体的な内容や周知時期等のスケジュールを決定した。		—浄化センター
	指定ごみ袋制度の導入 (平成19年度完了)	19年1月より導入した。平成19年1月から3月の3ヶ月間で前年度の同期間と比較して266,150kg、6.15%減量。指定ごみ袋取扱店募集233店登録があった。		—清掃事業課
	環境基本計画の策定 (平成19年度完了)	環境基本計画を策定した。		—環境政策課
	水道事業整備計画の策定 (平成20年度完了)	伊賀市水道事業基本計画を策定した。		—水道総務課
	同和行政推進計画の策定 (平成20年度完了)	伊賀市同和施策推進計画を策定した。		—同和課
	水道事業評価の実施 (平成19年度完了)	平成17年度に設置し、新規事業の事前評価を実施している。		—水道施設課
	基金活用奨学金 (平成19年度完了)	4つあった各基金の運用の違いにより年度毎に奨学金対象人員に変動があったが、今後は毎年2名に支給することができる。「ササユリ奨学金」として運用する。		—教育総務課
	中学校9校分について給食センター整備 (平成19年度完了)	19年4月5日に「いっこ給食センター夢」が竣工し、同11日から市内全中学校度に学校給食を実施する。		—教育総務課
	伊賀水田ビジョンの見直し (平成19年度完了)	19年4月5日に水田農業ビジョンを策定し、集団転作等の作付け拡大に伴い、ビジョンに基づく産地づくり交付金について1月20日水田農業推進協議会総会を開催し単価を見直した。		—農林政策課
	個人給付の統一	個人給付の基準統一と本庁への予算統一により、本庁で事務の統一が図れた。肥育牛・酪農については、団体で取りまとめ統一した基準で補助事業を実施したが、養豚は個人で事業実施のため統一できなかった。	371	農林振興課
	団体補助の統一	素牛導入事業は本庁一括で統一された団体へ補助を実施した。		農林振興課
	自主運行バス・行政サービス巡回車の見直し	・コミュニティバス、廃止代替バスについて利用状況調査を実施した。 ・住民アンケート調査を実施した。 ・平成22年度に交通計画の見直しを行う。		—企画調整課
	合併処理浄化槽関係補助金の見直し (平成19年度完了)	修繕補助金を平成18年度から廃止した。 設置補助金は金額の統一を行った。		—下水道課
芭蕉顕彰組織の統合 (平成19年度完了)	平成19年4月1日付けで財団法人芭蕉翁顕彰会といがまち芭蕉翁顕彰会が統一された。		—文化国際課	
国際交流協会の統合 (平成19年度完了)	平成19年4月1日付けで、伊賀市国際交流協会が設立された。		—文化国際課	